

2020 年度仮配属研究室希望調査

2020 年 4 月 27 日

作成: 楠橋 直 (2020 年度教務委員)

先に連絡したように、5 月開講の「地球環境学特論」・「岩石鉱物学特論」・「地球物理学特論」と並行して、仮配属研究室内の希望調査をおこなう。仮配属された研究室で少なくとも課題研究までおこなうことになる。また、「地球科学野外研究」・「地球科学実験 I」の選択は、仮配属研究室に応じて自動的に振り分ける (下表参照)。

課題研究まではあくまでも仮配属で、**卒業研究移行時 (正式な研究室配属決定時) には研究室の変更希望が出せる**。なお、研究室の変更は原則として卒業研究移行時のみ可能。

希望調査は地球科学科ウェブサイト上でおこなう。

学科ウェブサイト「講義関係資料」 (<http://earth.sci.ehime-u.ac.jp/classes/index.html>) ⇒ 「令和 2 年度 B3 『特論』『野外研究』『実験 I』の実施について」 ⇒ 「研究室仮配属および『野外研究』『実験 I』の振り分け」と進み、「研究室仮配属希望 届出フォーム」 (<http://earth.sci.ehime-u.ac.jp/classes/tokuron2020/kibou.html>) に必要事項を記入して送信。

学外からのアクセスにはユーザー名とパスワードが必要 (**メールで通知**)。

提出期間: 2020 年 5 月 7 日-5 月 31 日

締切: 2020 年 5 月 31 日午後 5 時 (締切厳守)

希望調査では仮配属を希望する研究室の教員氏名を第一希望から第三希望まで記入。ただし、海洋系の研究室については、教員氏名ではなく、「**海洋 (物理)**」、「**海洋 (古海洋)**」、「**海洋 (生物化学)**」で記入すること (CMES 教員の「地球環境学特論」講義を参考)。

第一希望から第三希望まで希望研究室の重複は認めない (重複していた場合下位希望は記入なし = どこでも良いと判断する)。定員 (下表参照) の都合上、第一希望の研究室に仮配属されるとは限らず、第二希望・第三希望の研究室に仮配属されることもあり得るので、よく考えて希望を出すこと。仮配属研究室は必要に応じて人数調整をおこなったのち決定する (6 月初旬を予定)。仮配属は決定後すぐにメール等により通知する。

仮配属を希望できるのは、原則として 3 つの特論のいずれかを担当している (Moodle コースにトピックのある) 教員の研究室のみ (次表参照)。ただし、特に希望する場合は入船先生の研究室で指導を受けることもできる (入船研究室を希望研究室に挙げて良い)。

	理学部	CMES	GRC
定員	12 名	12 名	なし
野外/実験 I	野外研究 (地質)	野外研究 (海洋)	実験 I
教員	鏑本武久 堀 利栄 岡本 隆 楠橋 直 齊藤 哲 Alexandra Abrajevitch 白勢洋平	郭 新宇 森本昭彦 加 三千宣 吉江直樹	亀山真典 土屋卓久 大内智博 河野義生 境 毅 土屋 旬 西 真之 西原 遊 出倉春彦 Steeve Georgi Gréaux (入船徹男)

少なくとも第三希望までに挙げる研究室は、希望を出す前に“研究室訪問”すること。今年度は実際に訪問するのではなく、メール等を用いた遠隔方式での“訪問”とする。“訪問”手段は各教員の特論講義あるいは講義資料等で説明がある。もし手段が明示されていない場合は、その教員にメールで問い合わせること。入船先生の研究室を希望する場合も同じ。

仮配属されるのは通常1指導教員につき2~3名。指導教員が受け入れを認め、教室会議で承認された場合はそれ以上の仮配属も可能。ただし、今年度は、理学部・CMES教員(特に理学部教員)については、全体の受け入れ定員がある(「地球科学野外研究」の定員と関係;上表参照)ので、1指導教員当たりの人数が2~3名以内であっても人数調整がおこなわれ、理学部(あるいはCMES)以外の教員の研究室に仮配属となる可能性がある。

仮配属希望調査に関して疑問がある場合は教務担当の楠橋 (nkusu@sci.ehime-u.ac.jp) までメールで問い合わせること。ただし、各研究室の状況や配属の可能性等については、直接その研究室の指導教員にメール等で問い合わせること。